

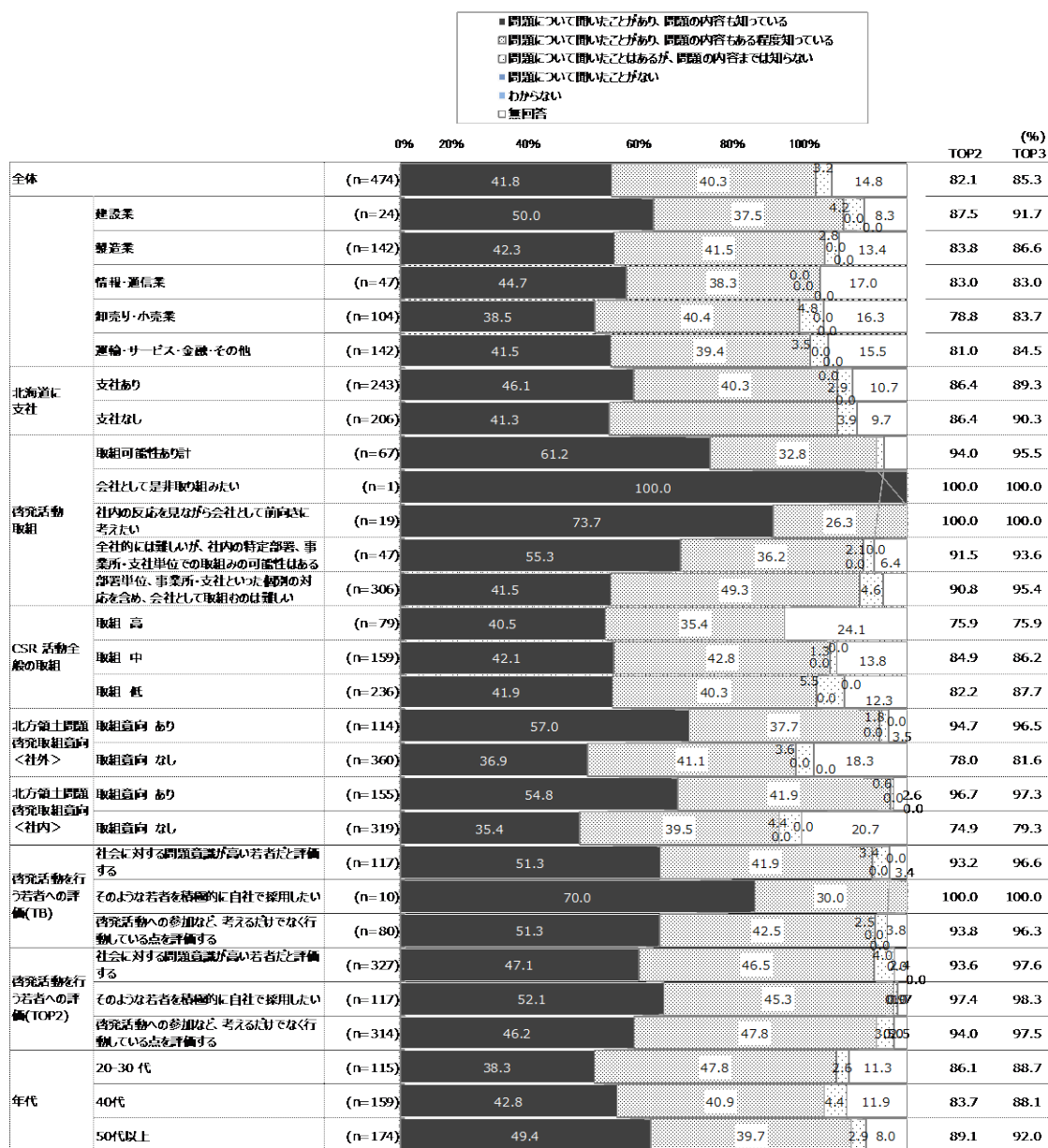
## 2. 回答者の「北方領土問題」認知・理解状況

### 1) 「北方領土問題」に対する認知・理解状況①

回答者のうち、「問題について聞いたことがあり、問題の内容も知っている」と回答した人は、41.8%。「問題について聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っている」人は、40.3%で、8割以上の方が北方領土問題について認知している。

- 高い年代ほど理解(TOPBOX)も高い。また、北海道に支社がある企業は、ない企業よりも理解・認知が高い。

Q16.あなたは、日本とロシアの間に「北方領土問題」があることをご存じですか？



\*サンプル数が30未満は参考値として掲載

## 2) 「北方領土問題」に対する認知・理解状況②

「北方領土問題」の内容に対する理解状況をみると、「北方領土が日本固有の領土であること」の認知・理解がもっとも進んでおり、「十分に理解している」との回答が 56.3%、「何となく知っている」が 27.8%で、認知度は、84.1%になっている。

次いで、「北方領土がロシアに法的根拠なく不当に占拠されていること」(82.0%)、「北方領土四島それぞれの名前や位置」(77.9%)の認知度が高くなっている。

Q17. あなたは、「北方領土問題」について、以下の内容をどの程度、ご存知ですか？あなたご自身の理解について、以下に挙げた内容、それぞれについてお答えください。

(%)

	十分に理解している	何となく知っている	聞いたような気がする	まったく知らなかった	無回答	TOP2	TOP3
a.北方領土が日本固有の領土であること b.北方領土がロシアに法的根拠なく不当に占拠されていること	56.3	27.8	14.8	0.0	1.1	84.1	85.2
c.北方領土四島それぞれの名前や位置	48.5	33.5	15.2	0.2	0.5	82.0	84.5
d.毎年2月7日が『北方領土の日』であること	32.3	45.6	14.1	0.4	7.6	77.9	85.5
e.北方四島交流も行われているが、北方領土を訪れることができる人は限られること	12.2	30.8	32.9	14.1	9.5	22.1	52.9
f.もっとも近い北方領土は、北海道の納沙布岬から貝殻島まで、わずか3.7kmの距離にある	28.3	18.6	20.7	14.1	14.1	46.7	65.3

TOP2(「十分に理解」+「何となく理解」計)、TOP3 (「十分に理解」+「何となく理解」+「聞いたよ  
うな気がする」計)の分析

「北方領土問題」の内容に対する理解状況を各層ごとに TOP2(「十分に理解」+「何となく理  
解」計)、TOP3 (「十分に理解」+「何となく理解」+「聞いたような気がする」計)を見てみると、  
いずれの内容も 50 代以上の理解度が高い。20-30 代では、「毎年 2 月 7 日が『北方領土の  
日』であること」「最も近い北方領土は、北海道の納沙布岬から貝殻島まで、わずか 3.7 km の  
距離にある」といった点での理解度が低くなっている。

また、CSR 活動全般への取り組みが高い企業は北方領土問題への理解度が低い傾向が見  
られた。

